

こんにちは。文化財課の児玉です。

今回は、ふるさと納税型クラウドファンディングの実施についての案内です。

青森市では、本市に所在する特別史跡 三内丸山遺跡及び史跡 小牧野遺跡などを構成資産とする「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指しており、順調に進めば、令和3年(2021)7月頃に開催予定の世界遺産委員会で登録が決定する見込みです。

この取組は、展示パネルや懸垂幕の設置など世界遺産登録決定を記念した様々な取組への支援を募るため、令和元年度の職員提案に基づき、青森市として初めて、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施することとなりました。

ご寄附いただいた方へのお礼品として、「縄文の学び舎・小牧野館」の様々な縄文グッズをご用意しています。例えば、人気のある遮光器土偶の手編みニット帽や遮光器土偶のメガネ、また、小牧野遺跡の出土品を描いたマグカップと環状列石をイメージしたシリコン製のフタがセットになった新商品「小牧野遺跡マグ&キャップ」など、どれも「縄文」の魅力にあふれたグッズです。また、寄附者の氏名公表に同意いただいたかたについては、「縄文の学び舎・小牧野館」に1年間お名前を掲示させていただきます。

クラウドファンディングを呼びかけるサイトは、ふるさと納税サイト「さとふる」となっており、寄附の目標額を100万円に設定し、寄附の受付を4月1日から6月30日までとしております。

世界遺産登録まで、あと一歩となりました。皆さんと一緒に世界遺産登録の機運を盛り上げていきたいと考えていますので、全国の皆様方の温かい御支援をよろしくお願いいたします。

※クラウドファンディングの受付期間は終了しています。



クラウドファンディングの寄附金で制作した看板等